

# 令和8年度出荷制限解除に向けた山菜・きのこ類の調査業務の作業基準

## 1 業務の目的

山菜及びきのこの出荷制限解除等のため検体探索・採取等を行い、結果を取りまとめることにより、出荷制限の解除に向けた取組の進捗を図る。

## 2 業務の場所

会津・南会津農林事務所管内及び帰還困難区域を除く県内一円（別紙1のとおり）

## 3 業務の内容

### (1) 野生山菜・野生きのこ

#### ア 野生山菜の探索・採取（別紙2のとおり）

(ア) 指定する市町村より対象の検体を探索・採取する。

市町村毎の採取数・品目の内訳は契約締結後に受注者と監督員で協議して決めることとする。

業務は土地所有者名、住所、連絡先を把握し、許可を得た上で実施する。

なお、一般的に地域住民が立ち入ることが可能な地域とし、危険な場所や奥山等で地域住民が立ち入ることができない場所は採取範囲から除くこととする。

採取する場所は、別途指示する場合がある。その際、過去に採取実績がある場合は、以下の貸与資料を参照のうえ、採取すること。

※貸与資料：出荷制限解除に向けた山菜・きのこ類の調査業務

（平成30年度～令和7年度）

なお、上記場所以外で採取する場所が出てきた場合は、別途監督員から指示する。

(イ) 検体の採取量は、調整後重量で1検体当たり300gから1,000gを目安に採取するものとする。

(ウ) 採取検体毎に、発生状況が分かる写真（GPS機能付きカメラを使用）を撮影する。写真は、再び同箇所での採取ができるように周囲の状況が分かる遠景1枚と対象品目の発生環境が分かる近景1枚の計2枚とする。

(エ) 採取品目毎に、採取箇所の座標を記録する。

(オ) 採取した検体は、土やゴミ等を落としたうえ、他の検体と混合しないよう、市町村名、採取箇所名、検体名、採取日時、天候、検体採取者名を明記したビニール袋に入れ、採取した検体が傷まないよう保管・運搬等を行う。

#### イ 野生きのこの探索・採取（別紙2のとおり）

3（1）ア野生山菜の探索・採取に準じる。

なお、適期に探索を行っても発生のない場合は、探索コース及び状況写真を取りま

とめ、報告を行う。

また、野生きのこは別表1の45品目を優先的に探索することとするが、探索の過程で別表2の72品目の発生が確認された場合は、併せて採取する。その他、別表にない品目で食用となるものについては、監督員に報告し、対応について指示を受けるものとする。

#### ウ 検体調整（別紙3のとおり）

（ア）採取した検体は、損傷や腐敗を防止するとともに、他の検体と混合しないよう保管する。

（イ）検体調整時は、使い捨て手袋を着用し、落ち葉や枝等のゴミを手で取り除いた後、水道水にて検体に付着している泥等を洗い流し、水気をよく拭き取る。

野生山菜は、非可食部を取り除いた上で、検体を調整する。

野生きのこは、非可食部である石づきの下部を切り取る。

監督員から指示があった検体については、上記非可食部の切除は行うが、洗浄せず、濡れた布等で付着物を丁寧に拭き取る。

なお、検体の調整の際に使用する用具は、検体毎に交換（使い捨て）または、洗浄のうえ使用すること。

（ウ）重量を計測し、検体番号、市町村名、品名を記入した袋に充填する。記入事項は結んだ状態で確認できるように袋の下部へ記入すること。

#### エ 検体発送

（ア）林研搬入リストの作成

受注者は、検体を福島県林業研究センターに検体を搬入する前日の12時まで、別紙調査様式\_林研搬入リストを作成のうえ、林業振興課にメールでデータを提出する。データを送信後、その旨を林業振興課へ電話連絡する。

なお、検体番号は別紙4-1のとおりとする。

（イ）（ア）で作成したリストにより検体を確認し、確認したリストの写しを同封する。

なお、運搬の際は、必要に応じて緩衝材や保冷剤を用いるなど検体の保護に十分留意し、やむを得ず冷凍した検体は運搬の途中で解凍されないように配慮すること。

#### オ 検体数の取扱いについて

天候等の理由で市町村により発生が確認できず、採取できなかった場合は、指定する全市町村の検体数の合計を変更しないことに限り、監督員との協議により委託契約書の変更を行わず、各市町村の検体品目及び検体数を変更できるものとする。

（2）協議打合せ

業務打合せは、着手時、中間2回、業務終了時の計4回とする。

（3）報告書作成

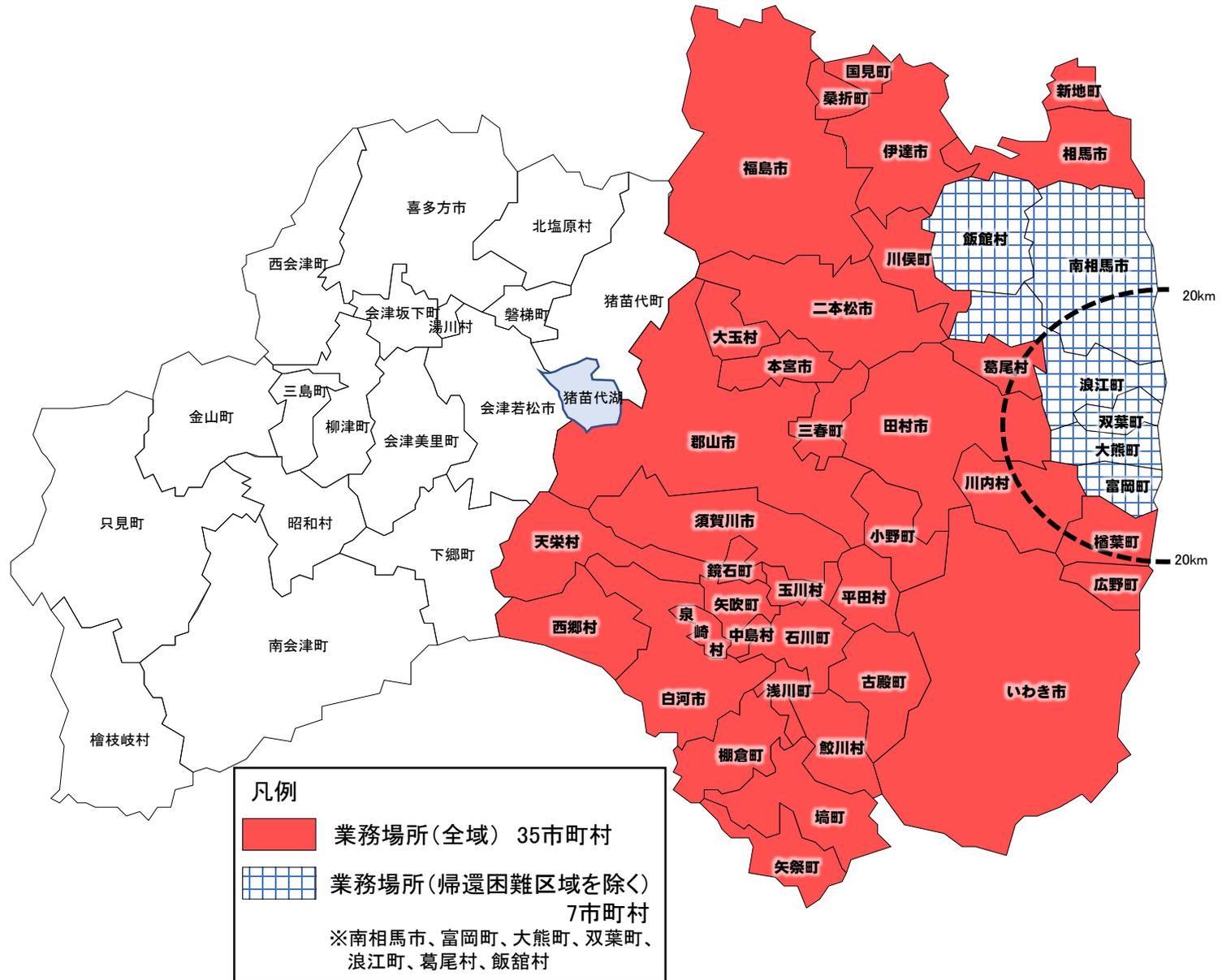
ア 採取箇所を地図に反映するとともに、探索、採取時に撮影した発生箇所写真及び測定結果等の必要事項をまとめる。

なお、測定結果については、監督員より情報提供を行い、受託者が取りまとめを行う。

(ア) 提出書類

- ・採取箇所位置図（各市町村毎、品目毎にまとめる。）
- ・測定結果位置図（採取箇所位置図に測定結果を記載したもの。）
- ・測定結果集計表（各市町村毎、品目毎に別紙調査様式\_林研搬入リストにより、取りまとめる。）
- ・発生箇所状況写真
- ・その他監督員が指示するもの

# 出荷制限解除に向けた山菜・きのこ類の調査業務 業務場所



区分	No.	現市町村	野生山菜	野生きのこ	合計
			事務所別計	事務所別計	
中通	1	福島市	212	15	227
	2	二本松市			
	3	伊達市			
	4	本宮市			
	5	桑折町			
	6	国見町			
	7	川俣町			
	8	大玉村			
	9	郡山市	133	16	149
	10	須賀川市			
	11	田村市			
	12	鏡石町			
	13	天栄村			
	14	石川町			
	15	玉川村			
	16	平田村			
	17	浅川町			
	18	古殿町			
	19	三春町			
	20	小野町			
	21	白河市	48	8	56
	22	西郷村			
	23	泉崎村			
	24	中島村			
	25	矢吹町			
	26	棚倉町			
	27	矢祭町			
	28	塙町			
	29	鮫川村			
浜通	47	相馬市			
	48	南相馬市			
	49	新地町			
	50	飯館村	220	4	224
	51	広野町			
	52	檜葉町			
	53	富岡町			
	54	川内村			
	55	大熊町			
	56	双葉町			
	57	浪江町			
	58	葛尾村			
59	いわき市	25	3	28	
計			752	50	802

# 検体の調整方法から搬送方法まで

検体の調整方法	P 1~7
きのこ	P 1
山菜	
たけのこ	P 2
ぜんまい・わらび・くさそてつ(こごみ)	P 3
こしあぶら・たらのめ・さんしょう葉	P 4
うど・ふき	P 5
うわばみそう・ふきのとう	P 6
図解	P 7
搬送する検体の梱包方法及び搬入方法	P 8

# 検体の調整方法 1 -きのこ-

## (野生きのこ)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板
3. 使い捨ての手袋をつけ、石突きを切り取ってください。  
包丁またはハサミで石突きを半分ほど切り取ることが基本ですが、量が少ないので、なるべく切る部分を小さくしましょう。
4. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。土や葉等の汚れが酷く、脆いため、優しく丁寧に作業してください。  
キムタオルやキッチンペーパー等で水気をよく拭き取りましょう。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
7. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## (野生きのこ)※監督員から指示を受けたもの

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板
3. 使い捨ての手袋をつけ、石突きを切り取ってください。  
包丁またはハサミで石突きを半分ほど切り取ることが基本ですが、量が少ないので、なるべく切る部分を小さくしましょう。
4. 濡れた布等で付着物を丁寧に拭き取ってください。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
7. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## 検体の調整方法 2 -山菜-

### (たけのこ)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、洗って大きな汚れを落としてください。
4. 根本を切り、皮をむきましょう。  
非可食部の赤い斑点があるところが無くなるくらい切りましょう。
5. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
6. 重量を測定し、記録してください。
7. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
8. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
9. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## 検体の調整方法 3 -山菜-

### (ぜんまい)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、根本を切りましょう。  
先端の茶色い綿毛を取り除きましょう。葉の先端(葉が巻いた部分)は取らず、孢子葉(オス)と呼ばれるものは取りましょう。
4. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
7. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
8. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

### (わらび・くさそてつ(こごみ))

1. 検体を準備してください。(調整重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、根本を切りましょう。
4. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
7. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
8. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## 検体の調整方法 4 -山菜-

### (こしあぶら・たらのめ)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、根本の非可食部を切りましょう。  
はかま部分を取り除き、たらのめのトゲは取りましょう。
4. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
7. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
8. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

### (さんしょう葉)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、根本の非可食部を切り、太い茎を取り除きましょう。
4. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
5. 重量を測定し、記録してください。
6. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
7. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
8. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## 検体の調整方法 5 -山菜-

### (うど)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、洗って大きな汚れを落としてください。
4. 根本を切り、**葉と茎で分けましょう。**  
かたい部分があれば取り除いてください。
5. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
6. 重量を測定し、記録してください。
7. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
8. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
9. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。
10. 検体を保管する場合は**冷蔵庫で保管してください。**

### (ふき)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、洗って大きな汚れを落としてください。
4. **根本と葉を切り、皮をむきましょう。**
5. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
6. 重量を測定し、記録してください。
7. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
8. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
9. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

## 検体の調整方法 6 -山菜-

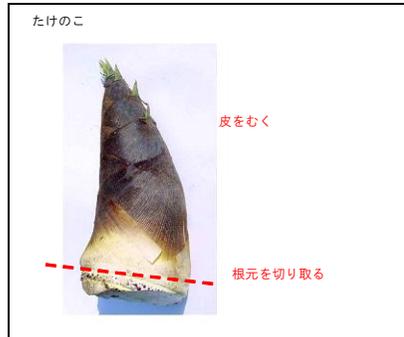
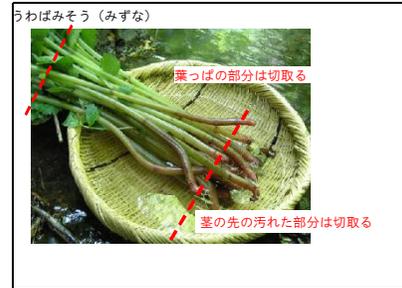
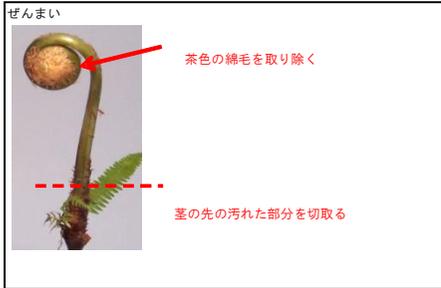
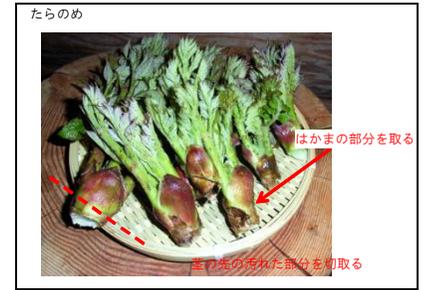
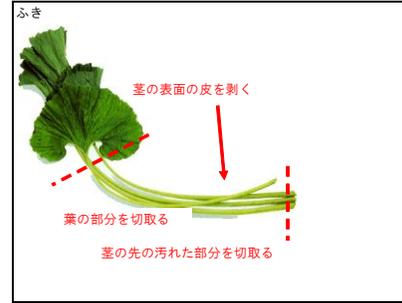
### (うわばみそう)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、洗って大きな汚れを落としてください。
4. 根本と葉を切り取りましょう。
5. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
6. 重量を測定し、記録してください。
7. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
8. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
9. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

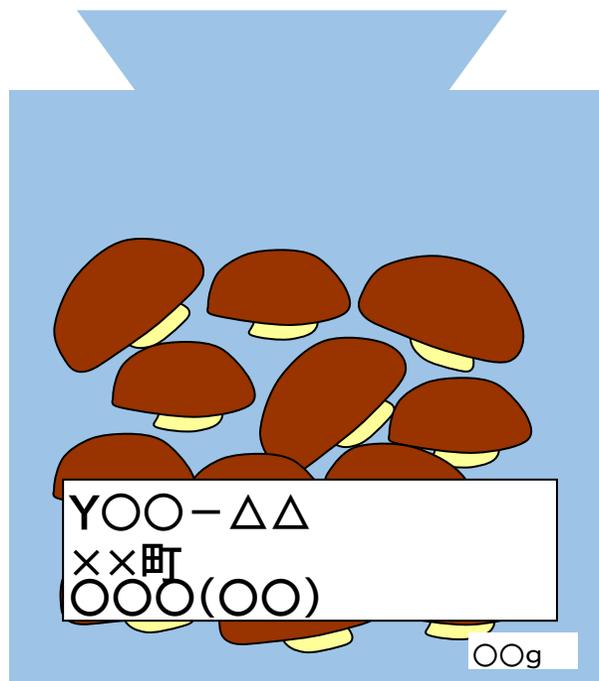
### (ふきのとう)

1. 検体を準備してください。(調整後重量で300g~1000gが目安)
2. 新聞を敷く等、作業台を準備し、調整用の道具を洗浄してください。  
ザル、桶、包丁・まな板等
3. 使い捨ての手袋をつけ、洗って大きな汚れを落としてください。
4. 根本を切り、汚れた外側の葉を取りましょう。
5. 2回洗浄してください。  
桶を用いて、流水による洗浄を行います。1回目の洗浄が終わったら、一度ザルで水気を軽く切り、桶の水を抜いてから再度桶を用いて洗浄しましょう。
6. 重量を測定し、記録してください。
7. 監督員から指示があった検体の写真を撮影してください。
8. P9「搬入する検体の梱包方法及び搬入方法」に従って作成した袋に検体を充填してください。
9. 汚染を防ぐために、次の検体に移る前には道具は洗浄し、作業台もきれいにしましょう。手袋は変えてください。

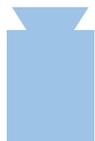
# 検体の調整方法 7 -山菜- 図解



# 搬送する検体の梱包方法及び搬入方法



## 図の凡例



しばった  
ビニール袋



調整を行った  
検体

## 搬送する検体の梱包方法

### 1. 放射性物質測定用検体

検体を袋に入れ、袋下部に検体番号・市町村・生産者名・品目名を油性マジックで読めるように記載してください。

### ※注意事項

A) 容器を包むビニール袋の結び方は引け解け結びとし、引け解け結びができるサイズの袋を用いてください。

## 搬入方法

### 1. 搬送方法を選びましょう。

直接搬入か宅急便を使いましょう。宅急便を選ぶ場合は検体の箱詰め等が必要です。

### 2. 林業研究センターへの搬入しましょう。

当日の午前中～14時までに搬入しましょう。

宅急便の場合は時間指定をしてください。気温が高い時期の場合は、クール便にする等の配慮も必要となります。

### 3. 林研搬入リストを作り、前日の正午までに林業振興課へ送りましょう。

締切は守ってください。

## 検体番号の付け方

検体番号は、受注者で「種別記号・検査回数－事務所番号－検査番号」の順で記載する。

1 種別番号

野生山菜・・・SS、野生きのこ・・・Y

2 検査回数

別紙4-2の検査回数一覧のとおり

3 事務所番号

出荷制限解除に向けた山菜・きのこ類の調査業務委託先・・・900～999

※受注者の各事務所や支所等により番号を振り分けて使用できる。

4 検体番号

検査する検体の通し番号

(例) 受注者により、福島市事務所を910、棚倉町事務所を920と設定。福島市の事務所で福島市のわらび1検体、棚倉町の事務所で鮫川村のたらのめを1検体、塙町のこしあぶらを1検体の計3検体を4月3日に検査（搬入は4月2日）する場合。

福島市のわらび・・・SS1422-910-1

鮫川村のたらのめ・・・SS1422-920-1

塙町のこしあぶら・・・SS1422-920-2

※同事務所番号では品目、市町村が異なっても検査番号は通し番号とする。

※その他、詳細については受注者と発注者により協議のうえ、決定する。

## モニタリング検査回数一覧

農総検査日	曜日	検査回数 (通算)	R8年度通し 番号	週番号	リスト送付日 (午前中まで受付)	最終林研搬入 日
2026年4月3日	(金)	1422	1	1	4月1日	4月2日
2026年4月7日	(火)	1423	2	2	4月3日	4月6日
2026年4月8日	(水)	1424-1	3		4月6日	4月7日
2026年4月10日	(金)	1424	4		4月8日	4月9日
2026年4月14日	(火)	1425	5		4月10日	4月13日
2026年4月15日	(水)	1426-1	6	3	4月13日	4月14日
2026年4月17日	(金)	1426	7		4月15日	4月16日
2026年4月21日	(火)	1427	8	4	4月17日	4月20日
2026年4月22日	(水)	1428-1	9		4月20日	4月21日
2026年4月24日	(金)	1428	10		4月22日	4月23日
2026年4月28日	(火)	1429	11		4月24日	4月27日
2026年4月30日	(木)	1430-1	12	5	4月27日	4月28日
2026年5月1日	(金)	1430	13		4月28日	4月30日
2026年5月8日	(金)	1431	13	6	5月1日	5月7日
2026年5月12日	(火)	1432	14	7	5月8日	5月11日
2026年5月13日	(水)	1433-1	15		5月11日	5月12日
2026年5月15日	(金)	1433	16		5月13日	5月14日
2026年5月19日	(火)	1434	17	8	5月15日	5月18日
2026年5月20日	(水)	1435-1	18		5月18日	5月19日
2026年5月22日	(金)	1435	19		5月20日	5月21日
2026年5月26日	(火)	1436	20		5月22日	5月25日
2026年5月27日	(水)	1437-1	21	9	5月25日	5月26日
2026年5月29日	(金)	1437	22		5月27日	5月28日
2026年6月2日	(火)	1438	23	10	5月29日	6月1日
2026年6月5日	(金)	1439	24		6月3日	6月4日
2026年6月9日	(火)	1440	25	11	6月5日	6月8日
2026年6月12日	(金)	1441	26		6月10日	6月11日
2026年6月16日	(火)	1442	27	12	6月12日	6月15日
2026年6月19日	(金)	1443	28		6月17日	6月18日
2026年6月23日	(火)	1444	29	13	6月19日	6月22日
2026年6月26日	(金)	1445	30		6月24日	6月25日
2026年6月30日	(火)	1446	31	14	6月26日	6月29日
2026年7月3日	(金)	1447	32		7月1日	7月2日
2026年7月7日	(火)	1448	33	15	7月3日	7月6日
2026年7月10日	(金)	1449	34		7月8日	7月9日
2026年7月14日	(火)	1450	35	16	7月10日	7月13日
2026年7月17日	(金)	1451	36		7月15日	7月16日
2026年7月21日	(火)	1452	37	17	7月16日	7月17日
2026年7月24日	(金)	1453	38		7月22日	7月23日
2026年7月28日	(火)	1454	39	18	7月24日	7月27日
2026年7月31日	(金)	1455	40		7月29日	7月30日
2026年8月4日	(火)	1456	41		19	7月31日
2026年8月7日	(金)	1457	42	8月5日		8月6日

農総検査日	曜日	検査回数 (通算)	R8年度通し 番号	週番号	リスト送付日 (午前中まで受付)	最終林研搬入 日
2026年8月14日	(金)	1458	43	20	8月12日	8月13日
2026年8月18日	(火)	1459	44	21	8月14日	8月17日
2026年8月21日	(金)	1460	45		8月19日	8月20日
2026年8月25日	(火)	1461	46	22	8月21日	8月24日
2026年8月28日	(金)	1462	47		8月26日	8月27日
2026年9月1日	(火)	1463	48	23	8月28日	8月31日
2026年9月4日	(金)	1464	49		9月2日	9月3日
2026年9月8日	(火)	1465	50	24	9月4日	9月7日
2026年9月11日	(金)	1466	51		9月9日	9月10日
2026年9月15日	(火)	1467	52	25	9月11日	9月14日
2026年9月16日	(水)	1468-1	53		9月14日	9月15日
2026年9月18日	(金)	1468	54		9月16日	9月17日
2026年9月29日	(火)	1469	55	27	9月25日	9月28日
2026年9月30日	(水)	1470-1	56		9月28日	9月29日
2026年10月2日	(金)	1470	57		9月30日	10月1日
2026年10月6日	(火)	1471	58	28	10月2日	10月5日
2026年10月7日	(水)	1472-1	59		10月5日	10月6日
2026年10月9日	(金)	1472	60		10月7日	10月8日
2026年10月13日	(火)	1473	61	29	10月8日	10月9日
2026年10月14日	(水)	1474-1	62		10月9日	10月13日
2026年10月16日	(金)	1474	63		10月14日	10月15日
2026年10月20日	(火)	1475	64	30	10月16日	10月19日
2026年10月21日	(水)	1476-1	65		10月19日	10月20日
2026年10月23日	(金)	1476	66		10月21日	10月22日
2026年10月27日	(火)	1477	67	31	10月23日	10月26日
2026年10月28日	(水)	1478-1	68		10月26日	10月27日
2026年10月30日	(金)	1478	69		10月28日	10月29日
2026年11月4日	(水)	1479	70	32	10月30日	11月2日
2026年11月6日	(金)	1480	71		11月4日	11月5日
2026年11月10日	(火)	1481	72	33	11月6日	11月9日
2026年11月11日	(水)	1482-1	73		11月9日	11月10日
2026年11月13日	(金)	1482	74		11月11日	11月12日
2026年11月17日	(火)	1483	75	34	11月13日	11月16日
2026年11月20日	(金)	1484	76		11月18日	11月19日
2026年11月24日	(火)	1485	77	35	11月19日	11月20日
2026年11月27日	(金)	1486	78		11月25日	11月26日
2026年12月1日	(火)	1487	79	36	11月27日	11月30日
2026年12月4日	(金)	1488	80		12月2日	12月3日
2026年12月8日	(火)	1489	81	37	12月4日	12月7日
2026年12月11日	(金)	1490	82		12月9日	12月10日
2026年12月15日	(火)	1491	83	38	12月11日	12月14日
2026年12月18日	(金)	1492	84		12月16日	12月17日
2026年12月22日	(火)	1493	85	39	12月18日	12月21日
2026年12月25日	(金)	1494	86		12月23日	12月24日

農総検査日	曜日	検査回数 (通算)	R8年度通し 番号	週番号	リスト送付日 (午前中まで受付)	最終林研搬入 日
2027年1月8日	(金)	1495	87	41	1月6日	1月7日
2027年1月12日	(火)	1496	88	42	1月7日	1月8日
2027年1月15日	(金)	1497	89		1月13日	1月14日
2027年1月19日	(火)	1498	90	43	1月15日	1月18日
2027年1月22日	(金)	1499	91		1月20日	1月21日
2027年1月26日	(火)	1500	92	44	1月22日	1月25日
2027年1月29日	(金)	1501	93		1月27日	1月28日
2027年2月2日	(火)	1502	94	45	1月29日	2月1日
2027年2月5日	(金)	1503	95		2月3日	2月4日
2027年2月9日	(火)	1504	96	46	2月5日	2月8日
2027年2月12日	(金)	1505	97		2月9日	2月10日
2027年2月16日	(火)	1506	98	47	2月12日	2月15日
2027年2月19日	(金)	1507	99		2月17日	2月18日
2027年2月26日	(金)	1508	100	48	2月24日	2月25日
2027年3月2日	(火)	1509	101	49	2月26日	3月1日
2027年3月5日	(金)	1510	102		3月3日	3月4日
2027年3月9日	(火)	1511	103	50	3月5日	3月8日
2027年3月12日	(金)	1512	104		3月10日	3月11日
2027年3月16日	(火)	1513	105	51	3月12日	3月15日
2027年3月19日	(金)	1514	106		3月17日	3月18日
2027年3月23日	(火)	1515	107	52	3月18日	3月19日
2027年3月26日	(金)	1516	108		3月24日	3月25日
2027年3月30日	(火)	1517	109	53	3月26日	3月29日
※通常と異なる動きのため注意						



野生きのこ対象品目(45品目)

別表 1

○腐生菌類

区分	科名	品目名
1		タモギタケ
2	ヒラタケ科	ウスヒラタケ
3		ヒラタケ
4	キシメジ科	ハタケシメジ
5		ブナシメジ
6		ムラサキシメジ
7		ナラタケ
8		オオイチョウタケ
9		ムキタケ
10		エノキタケ
11	モエギタケ科	サケツバタケ
12		クリタケ
13		ナメコ
14		ヌメリスギタケ
15		チャナメツムタケ
16	サンゴハリタケ科	サンゴハリタケ
17		ヤマブシタケ
18	エゾハリタケ科	エゾハリタケ
19		ブナハリタケ
20	タコウキン科	トンビマイタケ
21		マイタケ
22		マスタケ
小計	6科	22品目

○菌根菌類

区分	科名	品目名
1	ヌメリガサ科	サクラシメジ
2	キシメジ科	シヤカシメジ
3		ホンシメジ
4		キシメジ
5		シモフリシメジ
6		マツタケ
7		モミタケ
8	フウセンタケ科	ショウゲンジ
9		クリフウセンタケ
10		ムレオオフウセンタケ
11	イッポンシメジ科	ウラベニホテイシメジ
12	イグチ科	ハナイグチ
13		アマタケ
14		ヤマドリタケモドキ
15		ヤマイグチ
16	ベニタケ科	アイタケ
17		チチタケ
18		アカモミタケ
19		ハツタケ
20	ホウキタケ科	ホウキタケ
21	イボタケ科	コウタケ
22		カラストケ
23		クロカワ
小計	8科	23品目

野生きのこ 其他対象品目(72品目)

別表 2

○腐生菌類

区分	科名	品目名
1	ヒラタケ科	トキイロヒラタケ
2	キシメジ科	カヤタケ
3		コムラサキシメジ
4		ナラタケモドキ
5		ヌメリツバタケ
6		ヌメリツバタケモドキ
7		スギエダタケ
8		ウラベニガサ科
9	オオフクロタケ	
10	ハラタケ科	カラカサタケ
11		ハラタケ
12		シロオオハラタケ
13		コガネタケ
14	ヒトヨタケ科	ササクレヒトヨタケ
15	オキナタケ科	ヤナギマツタケ
16	モエギタケ科	ヌメリスギタケモドキ
17		キナメツムタケ
18		シロナメツムタケ
19		センボンイチメガサ
20	ハナビラタケ科	ハナビラタケ
21	カノシタ科	カノシタ
22	タコウキン科	アシグロタケ
23		チョレイマイタケ
24		アイカワタケ
25		ブクリョウ
26	ホコリタケ科	オニフスベ
27		ホコリタケ
28	スッポンタケ科	スッポンタケ
29		キヌガサタケ
30	キクラゲ科	キクラゲ
31		アラゲキクラゲ
32	シロキクラゲ科	シロキクラゲ
33		ハナビラニカワタケ
小計	14科	33品目

○菌根菌類

区分	科名	品目名
1	ヌメリガサ科	フキサクラシメジ
2		アケボノサクラシメジ
3		サクラシメジモドキ
4		フユヤマタケ
5		キヌメリガサ
6		コクリノカサ
7		オトメノカサ
8	キシメジ科	カクミノシメジ
9		スミゾメシメジ
10		ミネシメジ
11		シロシメジ
12		シモコシ
13		ハエトリシメジ
14		アイシメジ
15		マツタケモドキ
16		バカマツタケ
17		ハイイロシメジ
18	テングタケ科	タマゴタケ
19	フウセンタケ科	オオツガタケ
20		カワムラフウセンタケ
21		アブラシメジ
22		ヌメリササタケ
23	オウギタケ科	オウギタケ
24	イグチ科	シロヌメリイグチ
25		ヌメリイグチ
26		チチアワタケ
27		ウラグロニガイグチ
28		アカヤマドリ
29		ムラサキヤマドリタケ
30	アンズタケ科	アンズタケ
31	ニンギョウタケモドキ科	アオロウジ
32		ヌメリアイタケ
33		ニンギョウタケ
34	イボタケ科	マツバハリタケ
35	ショウロ科	ショウロ
36	イッポンシメジ科	ハルシメジ
37	ベニタケ科	アカハツ
38		チリメンチチタケ
39	ホウキタケ科	ウスムラサキホウキタケ
小計	13科	39品目

